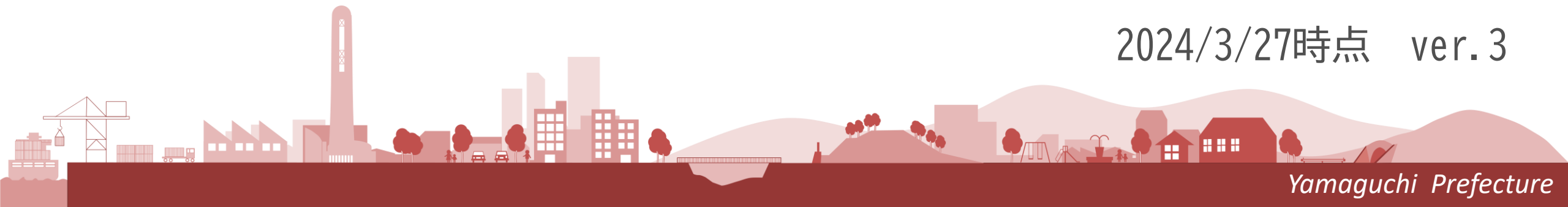


AIによる橋梁インフラ点検・診断システム

よくあるQ&A

2024/3/27時点 ver.3



○ システムの内容、操作方法について

Ver.3
一部修正

○ 適用範囲

○ iPad端末について

○ 基本情報の設定

○ 橋梁一覧画面・橋梁選択画面

○ iPadとクラウドの連携

Ver.3
一部修正

○ カルテで使用する地図について

Ver.3
内容追加

Q システムの内容、操作方法を知りたい。

A 山口県 小規模橋梁 点検データベース（アドレスはメールにて通知）から
[「ガイドライン」](#) [「操作手順動画」](#) をご確認ください。

問合せは「（一財）山口県建設技術センターのお問合せページ」へお願いいたします。

問合せ時には、**橋梁名、施設ID、エラー発生日時、実行したユーザ名、具体的な画面キャプチャ**
または出力ファイルを提供いただけますと、早期解決につながりますのでご協力をお願いいたします。

山口県 小規模橋梁 点検データベース

ログインもしくはアカウント登録してください。

ログイン名

パスワード

ログイン

パスワード再発行

資料ダウンロード [こちら](#)

山口県 AIを活用したインフラ点検・診断システム 資料

- 概要
AIによるインフラ点検・診断システムの概要（令和5年9月 山口県土木建築部） [ダウンロード\(1MB\)](#)
- ガイドライン
AIによるインフラ点検診断システム運用ガイドライン（令和5年9月 山口県土木建築部） [ダウンロード\(3MB\)](#)
- 動画マニュアル
AIによるインフラ点検・診断システム 操作手順（動画マニュアル）
 - (1) 事前準備編（令和5年10月3日版） [ダウンロード \(9MB\)](#)
 - (2) 現地点検編（令和5年10月3日版） [ダウンロード \(12MB\)](#)
 - (3) 記録修正編（令和5年10月3日版） [ダウンロード \(15MB\)](#)

【問合せ先】

（一財）山口県建設技術センター
AIによる橋梁インフラ点検・診断システム お問い合わせページ
<https://www.yama-ctc.or.jp/otoiwase-ai>

適用範囲

Q システムの適用範囲は。

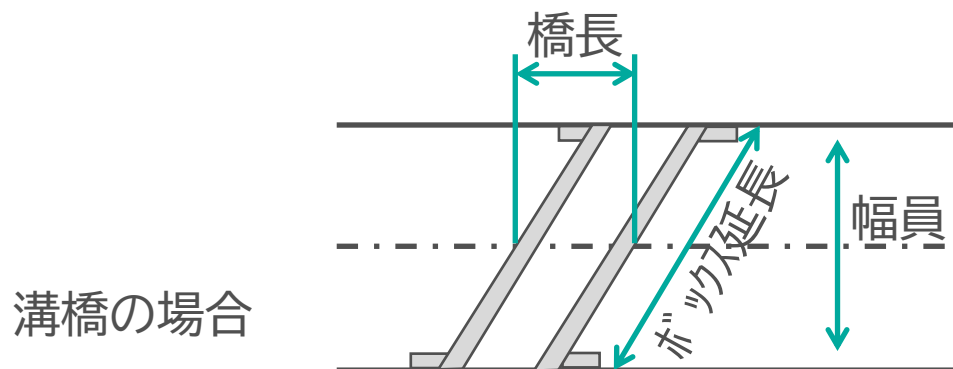
A 構成する要素技術の特性に応じて適用範囲が異なるため、ガイドラインp7~11を参照ください。

(概要は右図)

Q 橋梁10m以下とあるが、幅員は関係ないのか。

A 幅員は関係なく適用することとしています。

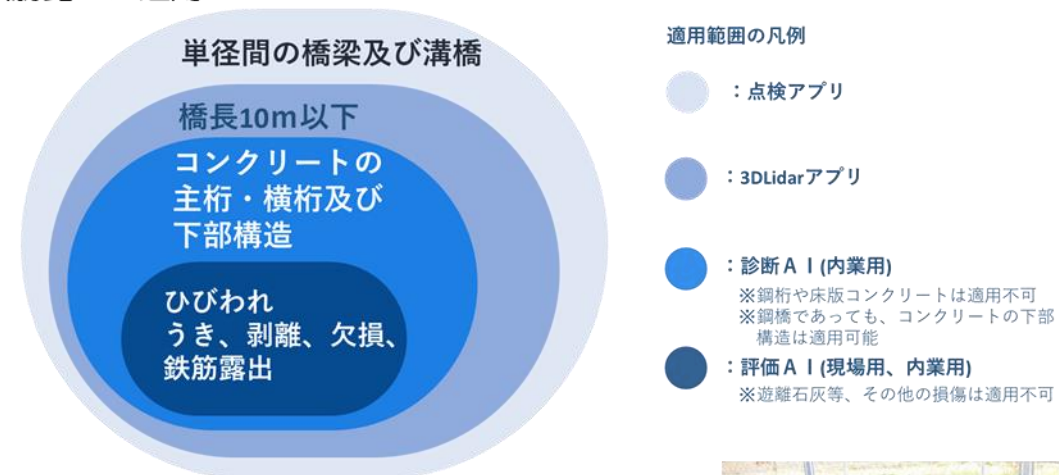
(溝橋であればボックス延長は関係ない)



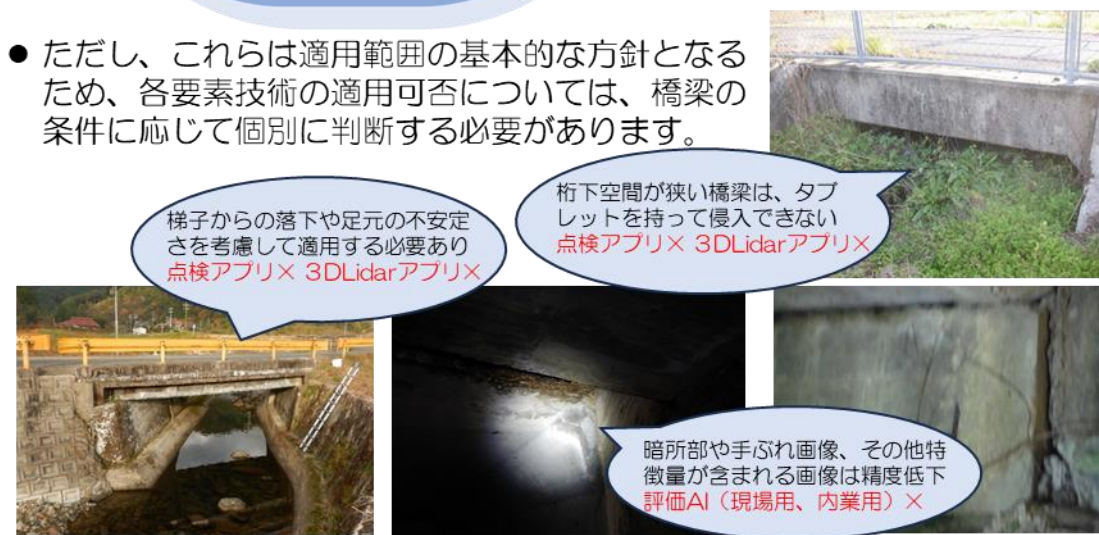
溝橋の場合



- ①点検アプリは、職員点検、委託B点検のうち、単径間の橋梁および溝橋に適用
- ②3D Lidarアプリは、①のうち、橋長10m以下に適用
- ③診断AI（内業用）は、②のうち、コンクリートの主桁・横桁及び下部構造に適用
- ④評価AI（現場用、内業用）は、③のうち、ひびわれおよびうき、剥離、欠損、鉄筋露出に適用



● ただし、これらは適用範囲の基本的な方針となるため、各要素技術の適用可否については、橋梁の条件に応じて個別に判断する必要があります。



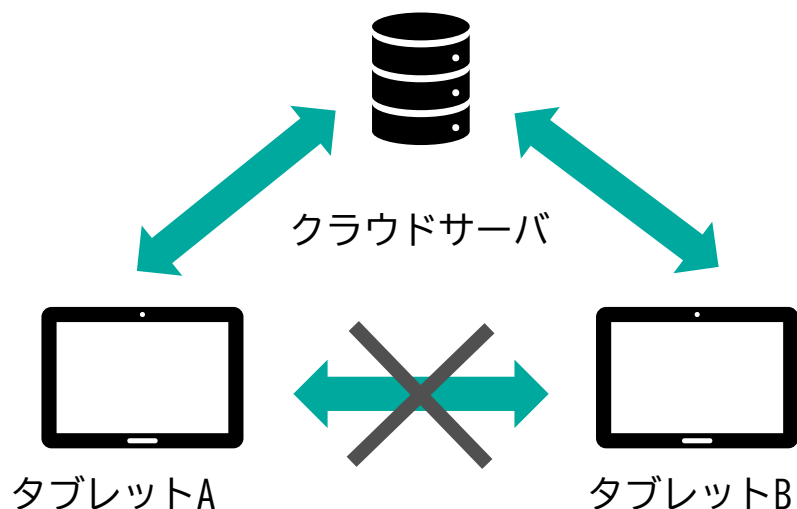
ガイドラインp7~11ほか

Q 複数台のiPad間でデータ連携可能か。

A 複数台のiPadに同じ橋梁のデータをダウンロードすることは可能ですが、iPad間でデータ共有（同期）することはできません。

複数のiPadでデータ共有したい場合は、一旦最新データをクラウドにアップロードして、再度ダウンロードすれば可能です。

なお、クラウド側では最後にiPadからアップロードした内容を正として上書きするため、一括アップロード等による意図しない上書きによるデータ消失等が無いようご注意願います。



Q iPadの推奨スペックはあるか。

A 推奨する性能要件は、下記のとおりです。

対応OS：iPad OS 15.0以降

動作保証端末：iPad Pro (11-inch, 12.9-inch)

※ガイドラインp.13抜粋

Q iPad 1台につき、1つの引換コードが必要か。

A 引き換えコードは1台に1コードを配布します。

複数班で点検に使用される場合は、最小台数でコードを配布しますので、不足する場合は「お問い合わせフォーム」までご連絡ください。

Q 橋梁の基本情報に空欄の項目がある。

A システムに登録されている橋梁は、過年度調書等のデータを抽出して自動登録しています。このため、文字の表記・ゆれや、入力漏れ等により **情報が反映されていない可能性があります。** **基本情報の「編集」を選択し、内容の確認・編集をお願いいたします。**

表①の項目は、県様式調書及び橋梁一覧表にない項目のため、空欄が設定されています。

国様式、カルテ、橋梁基礎データ表等を参照し、更新をお願いいたします。(不明な場合は空欄で構いません)

表①：空欄となっている項目

項目	参照元
道路台帳(図面コード)	橋梁基礎データ入力表(14)、橋梁点検一覧表
添架物	橋梁管理カルテ、橋梁点検一覧表
橋梁形式	国様式、橋梁点検一覧表
上部工形式	橋梁管理カルテ
橋種	橋梁管理カルテ
有効幅員	橋梁基礎データ入力表(28)、橋梁点検一覧表
幅員(車道)	橋梁管理カルテ
幅員(歩道)	橋梁管理カルテ
占有物件	国様式 ※添架物と同じ記載でOK
桁下高	橋梁点検一覧表
斜角①②	橋梁基礎データ入力表(29,30)、橋梁点検一覧表

表②の項目は、過年度の県様式調書や橋梁一覧表で空欄となっていた場合、初期値が入っていますので、参照元を確認の上、更新をお願いします。

表②：初期値が入っている可能性がある項目

項目	初期値	参照元
路下条件	道路	国様式、橋梁点検一覧表
代替路の有無	無	国様式
自動車道or一般道	一般道	国様式
緊急輸送道路	一次	国様式
主桁形式	RC床版橋	県様式
床版形式	コンクリート床版	県様式
海岸線区分	50m以内	橋梁基礎データ入力表(31)

表①②以外の項目についても、適宜、確認&修正をお願いいたします。

Q 全橋梁リストに橋梁が見つからない。

A 点検年次の前倒し等により未登録の橋梁がある可能性があります。システム上で対象橋梁が見つからない場合は、問い合わせフォームより、対象の橋梁名・施設IDをご連絡ください。

Q 全橋梁リストにチェックが入れられず、点検対象リストに追加できない。

A 他のユーザーが点検橋梁リストに追加している場合は、該当の橋梁がグレーアウトし、チェックを入れることができません。

確認しますので、問い合わせフォームより、対象の橋梁名・施設IDをご連絡ください。

グレーアウトの例（この場合、相津橋側道橋は選択不可）

<input type="checkbox"/> 施設ID	橋梁名	管理者名	箇所名	前回年月日
<input type="checkbox"/> 83-01-000758	相津橋側道橋	岩国土木建築事務所	岩国市周東町西長野下相津	2023-09-06
<input type="checkbox"/> 83-01-000145	細利橋	岩国土木建築事務所	岩国市下	

Q DB登録のボタンを誤ってクリックしてしまった。

A DB登録は、今年度の点検帳票を最終化した段階で行う操作です。委託業務であれば発注者による検査終了後に行うことを想定しております。

一度DB登録をしてしまうと、ユーザー側で元に戻すことができません。

もし、誤ってDB登録してしまった場合は、問い合わせフォームより、該当の橋梁名・施設IDをご連絡ください。

Q iPad上で点検データのダウンロードに失敗する。

A 「県様式」→「損傷写真（その4）」の各損傷写真に**損傷区分（a, b, c）**の設定がされていない場合、iPad上でダウンロードできないことがあります。

空欄の場合、過年度調書を確認して入力をお願いします。過年度調書でも空欄の場合は、仮値でかまいませんので入力してください。（今回点検の評価は適切にお願いします）



Q iPad上で「橋梁情報」にファイルが存在しない

A システム上では、iPadの点検時に使用する「**県様式**」の前回点検調書がPDF登録されています。

「**国様式**」「**カルテ**」「**諸元（橋梁基礎データ入力表）**」をiPad上（現場）で確認したい場合は、システム上で橋梁の「**詳細**」→「**基本情報 編集**」より、PDFの登録を行ってください。

（現場での確認が必要ない場合、登録は不要です）



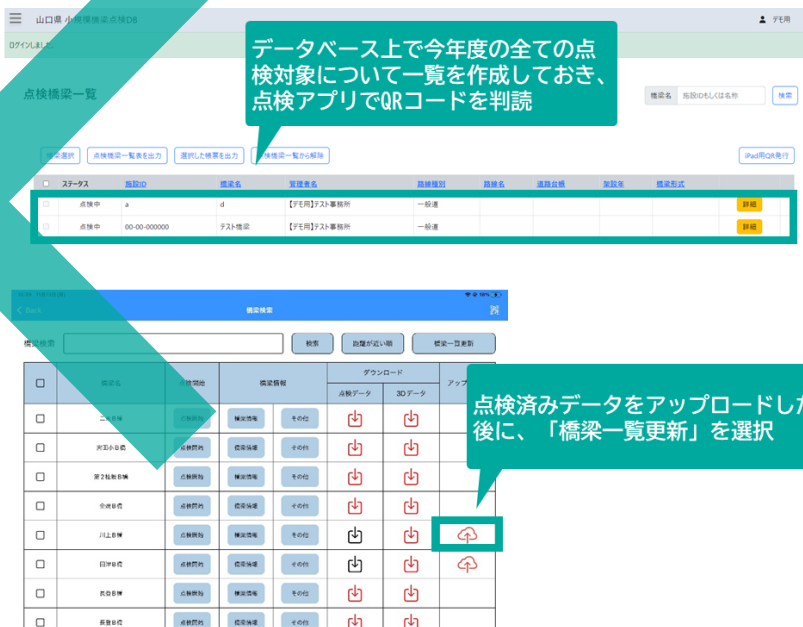
過年度県様式PDF	ファイルの選択
過年度国様式PDF	ファイルの選択
カルテ	ファイルの選択
諸元一覧	ファイルの選択

Q iPadの点検済みデータが削除されることはあるか。

A 点検した後に、「橋梁一覧更新」を選択した場合、点検済みデータが削除されます。

このため、事前準備段階で、QRコードを使用してiPadとクラウドを連携するときには、データベース上で今年度の全ての点検対象について、一覧を作成しておき、「橋梁一覧更新」を何度も選択しないことを推奨します。

途中で点検対象を追加したい場合は、点検済みデータを全てクラウドにアップロードした後に、「橋梁一覧更新」を選択することによって、点検済みデータの削除を防止することができます。



上記は、点検アプリ バージョン1.7以降では解決済のため、古いバージョンのアプリを使用されている場合にはアップデートをお願いいたします。

バージョン1.7より、橋梁一覧表更新ボタンを選択しても、点検データが保持されるように改修しました。

Q カルテの位置図で使用する地図に注釈は不要か。

A カルテの位置図には、**注釈の記載が必要**です。
(例：「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土 Web)の一部を掲載したものである。」)

点検者様が管内図、国土地理院地図のいずれかを使用するか不明なため、システム側では表示をしておりますので、**点検業者様にて、使用している位置図に合う注釈をJpeg形式の地図画像に直接入力**してください。

注釈のフォント・スタイル等は点検要領に規定していませんが、極力点検要領の掲載事例や過年度の橋梁管理カルテの掲載事例とあわせていただけますと幸いです。今後、例えば国土地理院地図に統一する等、検討してまいりたいと思います。



地理院地図注釈の例 (画像下部)